

授業科目名	【G】 【EF】	プレゼミⅡ プレゼミⅡ	区分 必修	開講年次	【G】1 【EF】1	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	現代社会の動きを知る			担当者	百花草 浩治		
授業概要	【概要】	新聞記事を全員で読むことを通じて、現代社会の動きを知り、また、その背景事情に迫る。					
	【到達目標】	① 毎日、新聞を読む習慣を身につける。 ② 社会の動きに関心を持つことができるようになる。 ③ 社会で日々、起こる出来事の背景事情に関心を持つことができるようになる。 以上の3点を目標としたい。					
履修条件	特になし。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)					
他科目との関連性	プレゼミⅠで学習したことを活かしてもらいたい。 2年次の法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ、3・4年次の研究会Ⅰ・Ⅱでの学習につながるような主体的な取り組みを期待したい。						
教科書	特に指定しない。						
参考書	いわゆる全国紙。および、その縮刷版など。						
評価方法	授業への取組状況全体を総合的に評価する。(自己の発表担当回60%、それ以外の回40%) ただし、自らの発表が行われることが評価の大前提である。						
フィードバック方法	講義内容に関する質問等は随時、受け付ける。必要に応じて、講義でもそれに触れる。						
評価基準	原則として、全15回のうち、少なくとも12回以上の「出席」を単位認定の前提とする。担当したテーマにつき、よく理解し、自己の見解を適切に表現できた者について、その程度に応じて、「S」または「A」とする。理解度や表現内容がなお十分とはいえない者は、その程度に応じて、「B」または「C」とする。担当したテーマにつき、理解の度合いや報告内容が最低限度に達していない者について、その程度に応じて「D」または「E」とする。自らの発表が行われなかった場合、あるいは、欠席回数が著しく多いなど、評価不能な場合「F」とする。						
その他	特になし。						

授 業 科目名	【 G 】	プレゼミⅡ	区 分	開講年次	【 G 】1	単位数	【 G 】2
	【EF】	プレゼミⅡ	必 修		【EF】1		【EF】2
授業内容	<p>【1回目～4回目あたり】 1週間の新聞記事の中から、いくつかを選んで全員で読む。</p> <p>【5回目あたり～10回目あたり】 自分で興味のある新聞記事を選んできて、それを他の参加者に紹介する。なぜ、その記事に関心を持ったのかについても、あわせてコメントをする。</p> <p>【11回目あたり以降】 自分で興味のある新聞記事を選んできて、それを他の参加者に紹介するだけでなく、加えて、その背景事情などについてもできる限り自ら調査をし、わかりやすく説明する。 他の参加者は、それに対して、その説明においてわかりにくい点などを質問する。</p>						
予習内容	<p>発表内容が確定している場合には、その事項について、各自、調査して、疑問点を明確にしておいてもらいたい。 授業ごとの予習時間は90分程度を目安としてください。</p>						
復習内容	<p>特に、復習をしっかりとってもらいたい。 授業内容を整理・確認したうえで、何らかの疑問が出てこれば、自ら調べる、あるいは、次回の授業でぜひ質問してもらいたい。 授業ごとの復習時間は90分程度を目安としてください。</p>						

科目コード B000-2-Y